

航空隊年始編隊飛行訓練の実施について（口頭要請）

- 航空機騒音の軽減に努めるとともに安全対策の徹底を図ること。
- 必要最小限の機数での訓練を実施すること。

令和4年12月28日

陸上自衛隊 立川駐屯地司令 佐藤 健 殿

立川飛行場周辺自治体連絡会構成市長

立川市長	清水庄平
昭島市長	臼井伸介
小平市長	小林洋子
日野市長	大坪冬彦
国分寺市長	井澤邦夫
国立市長	永見理夫
東大和市長	尾崎保夫
武蔵村山市長	山崎泰大

幹事 立川市長 清水庄平

陸上自衛隊による東部方面航空隊年始編隊飛行訓練について

1 日時

令和5年1月17日（火）（予備日：1月18日（水））

2 場所

陸上自衛隊立川駐屯地及び周辺空域

3 主要実施内容

（1）参加機数

編隊群機 6機

（2）飛行経路

① 主経路 立川～小田原～横須賀～横浜～立川

② 予備経路 立川～朝霞～久喜～関宿～三郷～立川

（3）その他

関連任務のため、編隊群機とは別に1機の運行があります。

4 安全管理

（1）訓練目的達成のための最小限の機数をもって訓練を行います。

（2）安全確保を最優先とするほか、細部飛行経路の選定にあたっては騒音の低減に留意します。